



安曇野市立明北小学校

かんだち山

10月号

令和7年10月10日

文責：校長 浅川 浩

6年生が「カヌー体験」をしました

9月9日（火）、総合的な学習の時間に、明科地域の探究と地域のよさや自然環境を知る学習の一環として、6年生が前川を下る体験をしました。子どもたちが乗ったのは正式には「バックラフト」という周囲に空気を入れたカヌーより安定した乗り物です。始めはあやめ公園のじゃぶじゃぶ池で操作の仕方を練習して、その後南こども園近くまでバックラフトを一人一人運び、前川を下りました。カヌーの練習コースを通り抜け、全員がゴールしました。地域のよさを知るよい学習ができました。



前川をバックラフトで下りました

1年生が「どんぐり拾い」に行ってきました

9月22日（月）に生活科の授業で、秋を感じながら地域を知り、学ぶ学習の一環として、あやめ公園へどんぐり拾いに行ってきました。

子どもたちはこの日をとても楽しみにしていて、初めてみんなであやめ公園まで歩いていきました。どんぐりを拾うと早速先生のところへ見せに行っていました。その後公園の遊具で体をいっぱい動かしみんなで遊びました。帰り道、潮神明宮近くの道でもどんぐりを拾い、廃線敷で休憩し景色を眺めて学校に戻りました。地域のよさと秋を満喫する学習ができました



「見て見て！先生どんぐりみつけたよ！」と子どもたち

「五か用水」について学びました

10月1日（水）に職員研修で「五か用水」について学びました。講師に郷土史家の矢花和成様をお招きして、現地で説明を聞きながら研修を行いました。江戸時代の1832年に完成した五か用水は、木崎湖から流れてくる内川の水を押野地区から取り、小泉地区で犀川に流れ込む全長10kmにも及びます。標高530mの等高線上に流れるように設計されていて、今でも田畑を潤しています。明科にとって今も大切な五か用水、その流れを現地で直接みながら皆で学びました。



「全校お絵かき」をしました

10月3日（金）に児童会の交流委員会が中心となり、縦割り班ごと分担して、プール下の壁面にペンキでお絵かきをしました。6年生の「全校の仲がもっと深まることをしよう」という願いのもと、その願い実現の1つとして今回の「全校お絵かき」を実施しました。絵柄は5年生の提案したものに決まり、5年生が壁の下書きを進め当日を迎えることができました。高学年が低学年の子にアドバイスしながら色塗りをする姿も多く見られ、全校の仲をさらに深めることができました。そしてすてきな壁画が完成しました。



縦割り班で協力してすてきな壁画が完成しました